

平成28年6月

大野市教育委員会定例会

会議録

日 時：平成28年6月23日（木）午後3時00分～5時05分

場 所：大野市役所 談話室



<出席者>

	委員長	洞 口 幸 夫
	委 員	山 川 秀
	委 員	妙 願 貴 子
	委 員	松 田 公 二
事務局（説明者）	教育長（再掲）	松 田 公 二
	事務局長	小川 市右ヱ門
	教育総務課長	木戸口 正 和
	学校教育審議監	道 鎮 栄 一
	生涯学習課長	中 村 吉 孝
	〃 文化財保護室長	中 村 りえ子
	〃 スポーツ振興室長	砂 子 淳 一
（書 記）	教育総務課課長補佐	山 田 靖 子

## 【大野市教育理念の唱和】

### 【開会・点呼】

【委員長】 定刻になりましたので、ただ今から、6月定例教育委員会を始めさせていただきます。

梅雨らしいじめじめした気候となりましたが、委員の皆さんにはお元気にお集まりいただき、ご苦労様です。

### 【会議録署名人】

【委員長】 本日の会議録署名人は、山川委員さん、妙願委員さんのお二人にお願いすることにします。

### 【5月定例会の会議録の承認について】

【局長】 本日、清水職務代理者より欠席の旨、ご連絡いただいています。

【委員長】 それでは、2番目の5月定例教育委員会の会議録の承認について、議題とします。事務局の説明をお願いします。

【教育総務課課長補佐】 5月の定例教育委員会の会議録について、説明します。

——<概要説明>——

【委員長】 今ほど、一部修正を含めて説明がありましたが、5月定例会の会議録について、ほかに修正箇所がありませんか。

修正がないようですので、5月定例会の会議録を承認してもよろしいですか。

——<異議なし>——

【委員長】 では、5月定例教育委員会の会議録について、原案通り承認します。

### 【委員長及び教育長の重要事項報告】

【委員長】 続きまして、3番目、委員長及び教育長の重要事項報告に入ります。

私からは、特に申し上げることはございません。

【教育長】6月市議会定例会の一般質問、総務文教常任委員会の質疑について、後ほど説明させていただきますので、よろしく申し上げます。

## 【議 事】

【委員長】では、4番目の議事に入ります。

まず、議案第22号 大野市現役世代交流促進事業補助金交付要綱の一部改正（案）について、議題とします。

事務局の説明をお願いします。

【生涯学習課長】私から、議案第22号について説明します。この事業は同窓会に市の施策などを情報提供し、補助するものです。平成27年度は、予算100万円のところ、6件、総額43万円の補助実績となっています。今後、もう少し市民などに活用いただけるように、要件を緩和するための改正案です。

改正の内容は、対象の同窓会の参加人数「20人以上」となっているものを、今回、「10人以上」と変更するものです。

——<議案第22号説明>——

【委員長】ただいま議案を説明いただきました。委員の皆さん、ご質問はありませんか。

【妙願委員】10人の同窓会でも他の要件に合致すれば、補助してもらえるとということですね。

【委員長】同窓会だけでなく、クラス会でもいいのですね。小さい学校だと、10人のクラス会でも難しいかもしれません。

【生涯学習課長】補助と併せて、ふるさと納税やキャリングウォータープロジェクトの募金などもPRしたいと思います。

【山川委員】交付要綱の第2項第3号の「情報発信に関する説明会」というのは、具体的にどういうことをされているのですか。

【生涯学習課長】結の故郷推進室の「ふるさと納税」や「空き家対策とまちづくり」、「大野へ帰ろうプロジェクト」の講演会などが主なものです。講師を呼んでいただいてもいいです。

今回、生涯学習課で記載例を示し申請のサポートを行うなど、気軽にご相談いただける体制で進めています。

【委員長】実績から反省して改めるというのは、いいことです。

他に質問はありませんか。ご意見がなければ、議案第22号について採決してよろしいですか。

——<異議なし>——

では、議案第22号 大野市現役世代交流促進事業補助金交付要綱の一部改正

(案)について、承認してよろしいですか。

——<異議なし>——

それでは、議案第22号 大野市現役世代交流促進事業補助金交付要綱の一部改正(案)について、提案どおり承認することにします。

これで議事は終了しました。

次に、5番目の付議事項、一番目 平成28年6月議会報告について、事務局の説明をお願いします。

【局長】私から、平成28年6月議会報告について、説明します。

——<資料説明>——

【委員長】ただ今、説明がありましたが、質問や意見はありませんか。

なければ、次に付議事項、二番目の7月の主な行事予定について、事務局の説明をお願いします。

——<各課、室長7月行事予定説明>——

【委員長】7月の行事予定について各課から説明がありましたが、質問や意見はありませんか。

【教育長】カヌーの使い始めは、いつからですか。

報道機関に投げ込みをして、是非、PRして欲しいと思います。

【スポーツ振興室長】たぶん乾側小学校の出前講座になると思います。報道機関への掲載依頼は行います。

【妙願委員】図書館の行事で「1日で書ききる読書感想文」4年生、5年生が対象ですが、他の学年は対象としないのですか。昨年とてもよかったです。

【文化財保護室長】指導を職員一人でやっています。それぞれレベルが違うので手間がかかります。定員は5名です。

【妙願委員】とてもいい事業なので、対象学年が増えることを期待しています。

【委員長】7月14日に臨時教育委員会、そして28日に総合教育会議を開催するということですが、よろしいですか。

——<異議なし>——

では、7月の臨時教育委員会を7月14日に、定例教育委員会は、7月28日、いずれも木曜日、午後3時から、談話室で開催とします。

【教育総務課長】総合教育会議は、7月21日開催と聞いています。

【委員長】次に、三番目の小中学校再編計画(案)についてですが、順番を入れ替えて、最後の議題に回したいと思います。

では、6番目のその他の一番目、6月の業務報告について議題とします。

事務局の説明をお願いします。

——<課、室長 6月の主な業務報告説明>——

【委員長】6月の主な業務報告について、報告いただきましたが、質問等はありませんか。

【山川委員】教育総務課の30日開催される「児童生徒問題行動地域対策会議」とは、どんな会議ですか。

【学校教育審議監】警察や校長会代表などを構成員として、補導連絡協議会の拡大版のようなものです。夏休み前なので、警察など外部の方が帰られた後、学校の生徒指導だけで情報交換を行う場として活用しています。

【委員長】では、次に、二番目の指定学校変更の申請許可について、事務局の説明をお願いします。

【学校教育審議監】指定学校の変更の申請が1件ありました。特に問題はないので許可したことを、報告させていただきます。

【委員長】次に、三番目、教育委員視察研修について議題とします。事務局の説明をお願いします。

【教育総務課長】教育委員さんの視察研修ですが、今年は1泊2日の日程となります。視察先、テーマについてご希望があれば、お聞きしたいと思います。

【委員長】学校再編に関して、新しい学校を見るのはどうですか。また、ふるさと教育で一生懸命やっているところを見たり、話を聞くことはどうですか。場所的には、能登方面、富山市の山間部くらいの距離なら無理なくスケジュールが組めると思います。

【教育長】テーマを2つとして、それぞれ1箇所ずつ視察するというのもいいと思います。同じテーマで複数個所を見るのもいいですが、課題が多いので、2つのテーマで視察させていただきたい。長野県は教育県なので是非見せて欲しいが、距離的に厳しいですかね。

【委員長】事務局で検討して、調べて下さい。

では、次に四番目の教育懇談会について、事務局の説明をお願いします。

【学校教育審議監】例年7月下旬から8月上旬にかけて実施している教育委員と教職員との懇談会ですが、今年度は8月4日（木）を予定しています。

対象の教職員は、去年は「各職種から幅広く」ということで、年齢は30代から50代の8人が参加しました。これまで、「新採用者」、また「中堅職の者」というように、毎年ご希望に合わせて設定しています。今年は、どの様にさせていただくのでしょうか。

【委員長】皆さん、いかがでしょうか。

【妙願委員】過去に「教頭先生」にお願いしたことがあるようですが、それはいつごろですか。

【学校教育審議監】 確か、平成23年度だったと思います。5年ほど経っているので、今年も教頭職で設定させていただきます。よろしくお願いします。

【委員長】 小中学校再編計画（案）について、入る前に、一旦、休憩します。

——<休憩>——

（4時22分再開）

【委員長】 では、次に、付議事項三番目の小中学校再編計画（案）について、議題とします。事務局の説明をお願いします。

【局長】 再編計画（案）の基本部分である、学校教育ビジョンについて、ご意見をいただきたいと思います。それでは、資料に基づき説明させていただきます。

——<資料3説明>——

【委員長】 このことについて、質問はありませんか。

【妙願委員】 先日、小学校2校、中学校1校という再編計画をお示しいただきましたが、「（5）小中一貫教育の取り組み」とは整合性が取れないのではないですか。私は、小中一貫教育なら、小学校2校、中学校2校ということだと理解しています。

【教育長】 再編により小学校2校、中学校1校となる中で、施設分離型の小中一貫に組みたいということです。

現在も小中連携教育を進めていますが、1中学校に3、4の小学校出身者がいることや1小学校から2つの中学校に分かれて進学することなど、小中連携も極めて限られた取り組みしかできないのが現状です。

再編により小学校2校、中学校1校になれば、児童生徒の交流など多くの取り組みが可能となり、指導の一貫性が図れます。

小中一貫は、大きく隣接型、併設型、分離型の3つに分けられます。

上庄小学校と上庄中学校なら、分離型の小中一貫教育が可能ですし、和泉小中学校では、既にほとんど併設型小中一貫教育の取り組みとなっています。

【委員長】 このビジョンの中に、足りない部分はないですか。

他に、事務局案の段階で削られた項目はなかったですか。

【局長】 削られた部分はなかったと思っています。むしろ、7項目目の「スクールバス」の部分は、素案より追加されている部分です。

【委員長】 「大野市の教育」、「広い意味（生涯学習の中）での教育」の記載が必要ではないですか。

【教育長】 この教育ビジョンは、基本的に各地区の説明会で出てきた意見をもとに作成しています。

生涯学習の一貫としての学校教育、例えば世代間交流など詳細に書くとボリュームが多くなりすぎて、再編がぼやけてしまいます。再編に関係ある具体的なビジョンを



書いたほうが読んだ人に理解してもらえないのではないかということで、こういう書き方となりました。現実論を加味しながら書かせていただいている部分もあります。

【委員長】「生涯学習の中での教育」といったことを念頭において、その上での記載ならそれで結構です。

全体の中で「生きる力」と書かれていますが、具体的に「基礎、基本の徹底」これは、当然のことではありますが、全くその言葉がありません。少し寂しい気がするのですが、どうでしょうか。

【教育長】「知識基盤社会」という文言を記載していますが、それは、基礎、基本を習得した上でそれを活用して展開していくという意味で使用しています。

今、気付いたのですが、「(3)「生き抜く力」を育む学校空間づくり」の項目は、(6)と(7)の間に移動したほうが良いと感じました。

【委員長】「(3)「生き抜く力」を育む学校空間づくり」の項目は、とてもいい視点だと感心しました。特に「躍動の空間」などは、なかなか出てこないいい言葉です。

【教育長】読んだ人がうなずけて、明るい学校像、楽しそうな子ども像が浮かんでくるよう、ある程度具体性を持ったビジョンでなければいけないと思っています。

【委員長】一昨年、教育委員の研修で京都の藤城小学校へ行き、ICTについて説明いただきました。ビジョンの中に、「ICTの活用能力を育てる」というように書かれており、視察が活かされているように感じました。

【教育長】ICT機器の活用能力とICTの活用能力は違います。情報をどう取り込んで、どう発信していくかという活用能力が大切です。

【委員長】ほかにありませんか。

では、本日はここで、質疑を終えて、次回6月30日(木)の臨時教育委員会で、引き続き質疑を行いたいと思います。

次の会までに読み込んでいただき、内容もちろん、文言についてもご意見をいただきたい、多くの視点で見えていただきたいと思います。

これで、本日予定された事項について全て終了しましたが、事務局、他に何かありますか。

なければ、以上で、6月定例教育委員会を終了します。どうもご苦勞様でした。

午後5時05分終了

平成28年7月28日

---

(山川委員)

---

(妙願委員)